

夢はNY舞台 アマ集う

「ミュージカルかぞ」発足

市民によるアマチュアミュージカルで地域の活性化を図ろうと22日、「ミュージカルかぞ」が発足した。加須市騎西生涯学習センターでの立ち上げ結団式には、幼児から高齢者まで80人以上が集まり、音楽に合わせて体を動かした。夢は大きく10年後には米・ニューヨークのブロードウェイ進出を目指すという。

事務局を担当する仏具店 化意識向上を進めるのが狙い。演技・歌唱指導を新国立劇場オペラ歌手で加須市観光大使の阿瀬見貴光さん



阿瀬見貴光さん(右)の指導のもと、参加者たちは思い思いのポーズを決めた—加須市根古屋

年1回本公演、小学校へ出張計画

ん、ダンス・演技指導をミュージカル俳優のおおた舞歩さん、音楽アシスタントを阿瀬見知恵子さんがそれぞれ引き受ける。

団員にはプロ以外なら誰でもなれる。年齢制限もなく、障害のある人も歓迎。すでに約30人から入団の申し出がある。会費は月4千円で、毎週日曜を中心に市内で練習する。

年に1度の本公演や、小学校や施設での出張公演、ワークショップなども開催する予定。郷土の民話をモチーフにしたミュージカル「不思議田」を7年かけて地元の人たちに披露する計画で、ニューヨーク上陸はその後の最終目標となる。

高校卒業まで加須で過ごした阿瀬見貴光さんは「こんな地方から世界を目指すと言ってもなかなか信じてもらえないが、みんなが楽しみながら、できることを一つずつ重ねていけばニューヨークにつながる。行政だけでなく民間の支援も必要なので、少しずつ理解を広げていきたい」と話す。問い合わせは折原さん(0480・61・3020)。